

(参考資料)

1 武雄市立武雄小学校

【訪問内容】

リーディング DX スクール事業の指定を受けた武雄小学校を訪問し、学習用端末を活用した授業を見学・体験し、教育現場における DX について意見交換を行う。

【訪問団体概要】

- ・校長 田崎 正剛 (たさき まさたか)
- ・生徒数 330 名 (令和 5 年 4 月 1 日現在)
- ・令和 5 年度、文部科学省から「リーディング DX スクール」に指定。全国の小中高等学校、約 200 校が指定されており、県内では武雄小学校と武雄中学校の 2 校が指定されている。
- ・リーディング DX スクール事業とは、GIGA 端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十分に活用した効果的な教育実践を創出・モデル化し、地域や校種を超えて全国展開することで、全国すべての学校で ICT の「普段使い」による教育活動をさらに推進することを目的としている。
- ・武雄小学校では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を重点テーマとし、7 月には、参加希望者が放課後の時間を使ってオンライン英会話に取り組んだ。
- ・令和 5 年 11 月 17 日には、公開授業を行い、学習者用端末の活用を中心とした授業改善や校務の DX について、参加者と意見交換を行った。

2 ベリーボタン

【訪問内容】

江北町産農産物の魅力を発信しているベリーボタンを訪問し、日々の活動やこれからの展望について、意見交換を行う。

【訪問団体概要】

- ・代表 北原 良太 (きたはら りょうた)
- ・平成 30 年 2 月に結成された若手農業者グループ、現在 5 名で活動中。「こうほくふうど」をテーマに掲げ、町の風土と FOOD の魅力を発信し、子どもたちが成長した時に帰ってきたい町づくりを目指している。
- ・江北町産の農作物のおいしさや魅力を発信するため、地産地消を推進する「こうほく地産地消プロジェクト」や、農業体験やマルシェなど、大人も子どもも楽しめるイベントを企画し、様々な活動を行っている。
- ・令和 3 年からは、農作物の裏にある生産者の日々の努力や想いやこだわりを江北町の飲食店に美味しい料理にしてもらい、生産者と料理人の想いと一緒料理を楽しんで幸福な時間を過ごす 1 日限定の「江福食堂」を開催、これまで 4 回開催をしている。
- ・令和 5 年 9 月 2 日には、カヌー体験やピザづくり体験、竹飯盒体験など、スマホが教えてくれないことを学ぶ、をテーマとした「チャレンジサマーキャンプ」を初開催するなど、農家の枠を超えて江北町の盛り上げに挑戦をしている。